

上関小学校の伝統 ～水軍太鼓に宿る伝統と主体性～

新年度がスタートして一か月半。子どもたちも新しい生活に慣れ、各学年とも順調な歩みを進めています。

先日、体育館のステージに「上関水軍太鼓」の道具を搬出・設置しました。準備にあたった高学年の児童たちは、今自分が何をすべきかを自ら考え、教員の指示を待つことなく主体的に動いており、その姿に深い感銘を受けました。

準備が整うと、自然と誰からともなく撥(ばち)を握り、太鼓を叩き始めました。最初はバラバラに感触を確かめていた音。しかし、誰が指示を出すでもなく、誰かが音頭を取るでもなく、いつの間にか全員の音がピタリと重なり、叩き終わる瞬間が何度も訪れたのです。

太鼓の響きは空気を震わせ、鼓膜を揺らします。その音の迫力もさることながら、子どもたちの心が一つに溶け合っていくその瞬間に、私は激しく心を揺さぶられました。この水軍太鼓の伝統こそが、上関小学校の「背骨」であると強く確信したひとときでした。

この伝統を守り抜くとともに、そこで培われた力を日々の学習や生活へと繋げ、さらなる成長を支えてまいります。

PTA総会、参観授業

先日はPTA総会へご参加いただき、ありがとうございました。

総会にてお伝えしました「安心して学べる学校づくり」の実践に向け、職員一同全力で取り組んでまいります。ご家庭・地域の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

当日は、各学年で子どもたちの意欲的な姿を見ることができました。以下に、その風景を写真と共に振り返ります。



ふれあい遠足 ～上級生の自覚～

5月1日、「ふれあい遠足」を実施いたしました。当日は祝島小学校の児童も参加予定でしたが、あいにくの荒天により叶わず、本校児童のみでの出発となりました。悪天候の中での出発となり、保護者の皆様には多大なるご心配をおかけいたしました。

道中は傘を手放せない時間もありましたが、中間地点を過ぎた頃には雨も上がり、時折温かな日差しも差し込むようになりました。風雨による歩きにくさにも負けず、全員が力強く歩みを進め、中ノ浦海岸までの道のりを最後まで歩き切ることができました。

目的地では、6年生が中心となって企画・準備したレクリエーションが行われました。下級生を楽しませようと試行錯誤しながら主体的に運営する姿は、最高学年として非常に頼もしいものでした。また、お弁当を囲んでの親睦や、地域の海水浴場を清掃するボランティア活動など、短い時間ながらも充実したひとときを過ごしました。

異学年グループの中でそれぞれが役割を果たし、困難を乗り越えてやり遂げたこの経験は、子どもたちにとって大きな自信と成長につながったと確信しています。



6月のおもな行事

- 3日(水) マダイ・クルマエビ入学式 (3年・4年)
- 10日(水) 第2回学校運営協議会 (6年・中学生)
- 11日(木) 小中合同苗植え (3校時・全学年)
- 17日(水) 18日(木) 宿泊体験学習(5年)
- 25日(木) ヘルスアップ教室 (5年)
- 26日(金) 参観日・七夕飾り (1年・2年)

